

**Joint Steering Committee (JSTC)  
Of the World Semiconductor Council (WSC)  
February 18, 2005**

**温室効果ガス規制に関する JSTC 声明**

半導体産業界では従来より、地球環境保護の重要性が認識されている。地球規模の気候変動を回避することの重要性に鑑み、WSC<sup>1</sup>は、半導体製造工場から排出されるPFCの絶対量を、2010年<sup>2</sup>までに少なくとも10%以上引き下げることについて、積極的に1999年に合意した。半導体産業の生産高が急成長を遂げているにもかかわらず、排出量を削減するこのようなコミットメントが締結された。

完全に自主的な方法で取組まれているこのような協定により、著しい進捗が遂げられてきた。この進捗はWSCによって検証されている。毎年WSC加盟の工業会は、気候変動に影響を及ぼすPFCを含むガスの排出データを収集し、目標達成に向けての進捗を確認するためにWSCにその情報を提供している。

WSCは現在、この情報を利害関係者に分かりやすく、また適切な方法で公表するための計画を最終的にまとめているところである。

WSCに加盟している5極の政府/当局はこのような自主的な活動を支援することを表明している。実際、1998年には米国環境保護局(EPA)はWSCに対し、格式あるGlobal Climate Protection Awardを進呈した。

WSC協定では、WSCに加盟している全ての地域の企業が、競争市場における機密情報あるいは専有情報の暴露につながらないような方法で、環境に調和する方針を追求するために共同で取組むことができる手段を提供している。また、このことがこのプログラムが非常にすばらしい成功を収めている理由の一因である。各企業の機密情報を暴露するリスクを伴ういかなる政策提案あるいは法規制も、産業界からの支持を得ることはないだろう。

---

<sup>1</sup> WSCは、EU、日本、韓国、台湾および米国の企業を代表する半導体産業協会から構成されている。

<sup>2</sup> 1999年に、EU、日本、韓国および米国を代表する工業会が合意に達し、2000年に台湾工業会が調印した。EECA、EIAJおよびSIAの基準年は1995年であり、KSIAは1997年、台湾は1998年\*（1997年と1999年の平均）である。

Enrico Villa, ST Microelectronics  
Chairman, EECA-ESIA JSTC Delegation

Sue Snyder, AMD  
Chairman, SIA JSTC Delegation

Yoshito Ogawa, NEC Electronics  
Chairman, JEITA-JSIA JSTC Delegation

T.Y.Wu, Powerchip  
Chairman, TSIA JSTC Delegation

Byung Ho Sung, Hynix Semiconductor  
Chairman, KSIA JSTC Delegation